

学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想

ロードマップの改訂

－ ロードマップ 2012－【概要】

(平成24年5月28日 科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会)

1. ロードマップの策定

- 「Bファクトリー」や「スーパーカミオカンデ」等の大型プロジェクトは、最先端の技術や知識を結集して人類未踏の研究課題に挑み、世界の学術研究を先導する画期的な成果を挙げている。
- 今後は、社会や国民の幅広い理解を得ながら、大型プロジェクトに一定の資源を継続的・安定的に投入していくことを、国の学術政策の基本として明確に位置付けることが必要。
- 大型プロジェクトは、長期間にわたって多額の経費を要するため、社会や国民の幅広い理解を得ながら、長期的な展望をもって戦略的・計画的に推進することが必要。

【ロードマップの記載内容】

- ・計画概要 ・実施主体 ・所要経費 ・計画期間
- ・評価結果 ・主な優れている点等 ・主な課題・留意点等 など

- 日本学術会議の「マスタープラン」を踏まえ、作業部会において、大型プロジェクトの推進にあたっての優先度を明らかにする観点から研究計画の評価を実施し、その結果を整理した「ロードマップ」を策定(平成22年10月)

| 計画名称 | 計画概要 | 実施主体 | 所要経費 | 計画期間 | 評価結果 | 主な優れている点等 | 主な課題・留意点等 | 備考 |
|-------------------------|---------------------|-------------------|-------|---------------|----------------------------------|----------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 国際共同研究プロジェクト推進委員会 | 100億円 | 2012年度～2015年度 | 計画期間中に国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 国際共同研究プロジェクトの推進が進展している |
| 2. 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 国際共同研究プロジェクト推進委員会 | 100億円 | 2012年度～2015年度 | 計画期間中に大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している |
| 3. 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 国際共同研究プロジェクト推進委員会 | 100億円 | 2012年度～2015年度 | 計画期間中に大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している |
| 4. 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 国際共同研究プロジェクト推進委員会 | 100億円 | 2012年度～2015年度 | 計画期間中に大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している |
| 5. 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 国際共同研究プロジェクト推進委員会 | 100億円 | 2012年度～2015年度 | 計画期間中に大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している |
| 6. 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 国際共同研究プロジェクト推進委員会 | 100億円 | 2012年度～2015年度 | 計画期間中に大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している |
| 7. 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 国際共同研究プロジェクト推進委員会 | 100億円 | 2012年度～2015年度 | 計画期間中に大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している |
| 8. 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 国際共同研究プロジェクト推進委員会 | 100億円 | 2012年度～2015年度 | 計画期間中に大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している |
| 9. 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 国際共同研究プロジェクト推進委員会 | 100億円 | 2012年度～2015年度 | 計画期間中に大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している |
| 10. 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進 | 国際共同研究プロジェクト推進委員会 | 100億円 | 2012年度～2015年度 | 計画期間中に大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している | 大規模な国際共同研究プロジェクトの推進が進展している |

- ※ マスタープランは、日本学術会議が、研究者コミュニティから提案された計画に対し、純粋に科学的視点から評価を実施し、我が国の学術研究や科学技術の発展に真に必要とされる7分野43計画をリストアップ。
- ※ ロードマップは、関連施策を推進する上で十分考慮すべき資料として策定。
- ※ ロードマップの評価の観点として、日本学術会議のマスタープランのリストアップ基準である①研究者コミュニティの合意、②計画の実施主体、③共同利用体制、④計画の妥当性のほか、⑤緊急性、⑥戦略性、⑦社会や国民の理解を設定。

2. 今回のロードマップの改訂

- 日本学術会議がマスタープランの小改訂を行い、「マスタープラン2011」として公表(平成23年9月)
- ※ 新規計画10計画と旧計画から分化等が行われた5計画の計15計画を追加するとともに、一部予算化された6計画を含め12計画を削除し、7分野46計画をリストアップ。
- 作業部会において、ロードマップの小改訂を実施
- ※ 基本的にロードマップ策定時の考え方を踏襲。
- ※ 引き続き掲載されている31計画については評価結果を維持した上で、今回追加された15計画について新たに評価を行いロードマップに整理。マスタープラン2011から削除された12計画のうち、一部予算化に伴い削除された6計画を現在推進中の計画として別途整理。

3. 大型プロジェクトの推進に向けて

- 社会や国民から、大型プロジェクトの意義について十分な理解を得るための取組が必要。
(例:インターネット等を活用した活動実態のきめ細かい発信。科学コミュニケーターの配置など支援体制の充実等)
- 新たにプロジェクトを推進する際には、ロードマップを踏まえ、専門家による客観的かつ透明性の高い事前評価を実施するとともに、進行中のプロジェクトについても、それぞれ適切な時期に評価を行い、結果に応じて中止や改善等の方針を打ち出すなど、資源の「集中」や「選択」の考え方を徹底することが必要。
- 今後、日本学術会議と関係府省・審議会など関係者の間で、大型プロジェクトの進め方やマスタープラン、ロードマップ等に関し意見交換が広く行われ、PDCAサイクルが効果的に機能し、我が国における大型プロジェクトの重層的・戦略的な推進が図られることを期待。